【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】平成24年3月1日(2012.3.1)

【公表番号】特表2011-510698(P2011-510698A)
【公表日】平成23年4月7日(2011.4.7)
【年通号数】公開・登録公報2011-014
【出願番号】特願2010-543447(P2010-543447)
【国際特許分類】
Ａ６１Ｎ　1/40　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６１Ｎ　1/40

【手続補正書】
【提出日】平成24年1月11日(2012.1.11)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
エネルギーを目標に向ける電磁エネルギー伝達手段であって、
該電磁エネルギー伝達手段は、コーティングまたは金属ネットの形態の、少なくとも１つの導電性金属電極材料を含み、
少なくとも１つの導電性金属電極材料層は、可撓性キャリアの表面上にコーティングされ、
前記コーティングされた可撓性キャリアは、多孔性で、かつ、前記コーティングされた可撓性キャリアを通して水の移動および呼吸を可能にするか、あるいは、前記少なくとも１つの導電性金属電極材料は、金属ネットの形態で可撓性キャリアを構成し、
前記可撓性キャリアは、多孔性で、かつ、前記可撓性キャリアを通して水の移動および呼吸を可能にし、
前記可撓性キャリア上のコーティングまたは金属ネットの形態の前記少なくとも１つの導電性金属電極材料は、絶縁されておらず、マイクロ波放射を使用しない
ことを特徴とする電磁エネルギー伝達手段。
【請求項２】
請求項１に記載の電磁エネルギー伝達手段であって、
前記電磁エネルギー伝達手段は、容量結合式のエネルギー伝達手段と、放射結合式のエネルギー伝達手段と、伝導結合式のエネルギー伝達手段とのうちの少なくとも１つである
ことを特徴とする電磁エネルギー伝達手段。
【請求項３】
請求項１に記載の電磁エネルギー伝達手段であって、
前記目標は、非一様な表面と、フラクタルな表面と、浸透性の表面とのうちの少なくとも１つ、または、哺乳類の皮膚または組織、または、流体、または液体である
ことを特徴とする電磁エネルギー伝達手段。
【請求項４】
請求項１に記載の電磁エネルギー伝達手段であって、
前記導電性金属電極材料は、銀、ニッケル、銅、金、ならびに、少なくとも銀とニッケルと銅と金とのうちの少なくとも１つを含む合金から選択される
ことを特徴とする電磁エネルギー伝達手段。

【請求項５】
請求項１に記載の電磁エネルギー伝達手段であって、
前記可撓性キャリアは、織物、プラスチック、ポリアミド、ポリ－ε－カプロラクトン、ポリ－パラ－ジオキサノン、ポリ酸無水物、ポリヒドロキシメタクリレート、フィブリン、ポリエーテルエステル、ＰＥＧ、ポリ（ブチレンテレフタレート）、ポリカーボネート、ポリ（Ｎ－ビニル）－ピロリドン、ポリビニルアルコール、ポリエステルアミド、ポリエチレンオキシド、ポリプロピレンオキシド、ポリウレタン、フィブリノゲン、デンプン、コラーゲン、ゼイン、カゼイン、β－シクロデキストリン、ポリアクリレート、ポリアクリルアミド、ポリイミド、ポリエチレン、ポリプロピレン、ポリテトラフルオロエチレン、フルオロシリコーン、レーヨン、ポリスルフォン、シリコーン、ポリシロキサン、ポリビニルハロゲン、および、これらの物質の共重合体または混合物から選択される
ことを特徴とする電磁エネルギー伝達手段。
【請求項６】
請求項１に記載の電磁エネルギー伝達手段であって、
前記コーティングされた可撓性キャリアまたは前記金属ネットは、前記キャリアを通した空気の移動を可能にする
ことを特徴とする電磁エネルギー伝達手段。
【請求項７】
請求項１に記載の電磁エネルギー伝達手段であって、
前記コーティングされた可撓性キャリアまたは前記金属ネットは、前記キャリアを通した流体の移動を可能にする
ことを特徴とする電磁エネルギー伝達手段。
【請求項８】
請求項１に記載の電磁エネルギー伝達手段であって、
前記コーティングされた可撓性キャリアまたは前記金属ネットは、円柱、あるいは、人または動物の身体の任意の形状に適応された任意の他の形を形成することができる
ことを特徴とする電磁エネルギー伝達手段。
【請求項９】
請求項１に記載の電磁エネルギー伝達手段であって、
前記コーティングされた可撓性キャリアまたは前記金属ネットは、折り畳み可能である
ことを特徴とする電磁エネルギー伝達手段。
【請求項１０】
請求項１に記載の電磁エネルギー伝達手段であって、
前記電磁エネルギー伝達手段は、冷却システムまたは冷却装置または冷却ボーラスを備えていない
ことを特徴とする電磁エネルギー伝達手段。
【請求項１１】
請求項１に記載の電磁エネルギー伝達手段であって、
前記電磁エネルギー伝達手段は、該電磁エネルギー伝達手段の全表面において等電位である
ことを特徴とする電磁エネルギー伝達手段。
【請求項１２】
請求項１に記載の電磁エネルギー伝達手段であって、
前記電磁エネルギー伝達手段は、単一のケーブルを通して無線周波数源に接続される
ことを特徴とする電磁エネルギー伝達手段。
【請求項１３】
請求項１に記載の電磁エネルギー伝達手段であって、
コーティングまたは金属ネットの形態の前記少なくとも１つの導電性金属電極材料は、少なくとも、１つの対電極または１つの逆帯電した容量性電極に対向して配置される
ことを特徴とする電磁エネルギー伝達手段。

【請求項１４】
請求項１に記載の電磁エネルギー伝達手段であって、
前記電磁エネルギー伝達手段は、コンデンサの一部である
ことを特徴とする電磁エネルギー伝達手段。
【請求項１５】
請求項１～１４のうちのいずれか１つに記載の電磁エネルギー伝達手段であって、
前記コーティングされた可撓性キャリアまたは前記金属ネットは、交互に入れ替わる正および負セクション配置または正および負電極配置で配列される、複数の正および負セクションまたは複数の正および負電極で構成されている
ことを特徴とする電磁エネルギー伝達手段。
【請求項１６】
請求項１～１５のうちのいずれか１つに記載の電磁エネルギー伝達手段を備える温熱療法装置。
【請求項１７】
がん、関節リウマチ、リウマチ、痛風、強直性脊椎炎、狼瘡、喘息、アレルギー性鼻炎、感冒、治療領域の解毒による疲労、筋痙攣、筋肉損傷の防止および治療のための、および、美容目的での使用のための、温熱療法装置を製造するための、請求項１～１５のうちのいずれか１つに記載の電磁エネルギー伝達手段の使用方法。
【請求項１８】
請求項１７に記載の使用方法であって、
前記美容目的は、セルライト治療、脂肪低減、および組織リフティングを含む
ことを特徴とする使用方法。